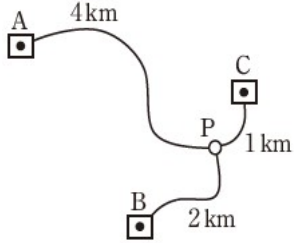


### 例題 1

図のように、三つの水準点 A～C から点 P の標高を求めるため直接水準測量を行い、表のような結果を得た。点 P の標高の最確値はいくらか。



水準点	点 P の測定値 [m]	点 P との距離 [km]
A	12.416	4
B	12.412	2
C	12.425	1

1. 12.418m
2. 12.419m
3. 12.420m
4. 12.421m
5. 12.422m

正答番号 3

## 例題 2

農道の路床に関する次の記述の A ~ E に当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

路床は、舗装（路盤を含む）の最下面から下の部分で、盛土区間では [A] から下の、切土区間では掘削した面から下の、深さ約 1m の土の部分指し、舗装と一体となって交通荷重を支持し、路体に対して交通荷重をほぼ一定に分散する役割をもつ。なお、軟弱な路床を改良するため路床の一部又は全てを良質な材料で [B] 層や、石灰・セメントなどで [C] 層、あるいは、寒冷地における凍上抑制層などは路床に含まれる。

路床土の良否は、その上部に設ける舗装の厚さに大きな影響を与える。このため、その土質の判定に当たっては十分な検討が必要であり、一般に物理的性質（[D]、粒度、比重、コンシステンシーなど）及び力学的性質（[E]、地盤係数など）を明らかにするための土質試験を行う。その結果や施工事例などの資料を参考にして、路床土としての適否や路床改良方法を決定する。

	A	B	C	D	E
1. 基礎地盤面	置き換えた	安定処理した	CBR	含水量	
2. 基礎地盤面	安定処理した	置き換えた	含水量	CBR	
3. 盛土仕上り面	置き換えた	安定処理した	CBR	含水量	
4. 盛土仕上り面	置き換えた	安定処理した	含水量	CBR	
5. 盛土仕上り面	安定処理した	置き換えた	含水量	CBR	

正答番号 4